

エスプレッソ専用 オンデマンドミル【カサディオ】

ENEА RE(OD) (業務用)

CASADIO

取扱説明書



このたびは、当社のエスプレッソ専用 オンデマンドミル（ENEА RE(OD)）をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございました。

この商品を安全に正しくご使用いただくために、お使いになる前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ安全にお使いください。

お読みになったあとは、いつも大切に保管し、必要なときにお読みください。

もくじ

安全上のご注意.....	1～5
各部の名称.....	6・7
本体.....	6
タッチパネル.....	7
操作手順.....	8～17
使用前の準備.....	8～10
コーヒー豆の挽きかた.....	11・12
任意の量の豆を挽く場合.....	13
メッシュ（挽き目）調節について.....	14・15
豆挽き時間（量）の変更方法（『  』アイコン使用）.....	16・17
ユーザー設定について.....	18～33
ユーザー設定画面.....	18・19
ユーザー設定のメニュー.....	20～22
カウンターの表示方法.....	23・24
豆挽き時間の変更方法.....	25・26
テーマカラーの変更方法.....	27
省電力機能の設定方法.....	28・29
ユーザー設定画面に入るためのパスワードの設定.....	30・31
豆挽き時間自動補正機能の設定方法.....	32・33
お手入れ.....	34・35
エラー表示.....	36
故障の診断と手当.....	37・38
据付けについて.....	39
仕様.....	40
保証書（別添付）について/消耗部品/補修用性能部品の保有期間.....	41

安全上のご注意

ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください
ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください

表示と意味は次のようになっています。

注意喚起シンボルとシグナル表示の例

 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害*の発生が想定される内容を示します。

*物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。

図記号の例

 感電注意	△は、注意（警告を含む）を示します。 具体的な注意内容は、△の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「感電注意」を示します。
 接触禁止	⊘は、禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、⊘の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「直接手を触れないこと」を示します。
 プラグを抜く	●は、行動の命令（強制）を示します。 具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「差し込みプラグをコンセントから抜く」を示します。

⚠ 警告



アース線接続

アース線を必ず接続すること

アース線はガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アースが不完全な場合は、感電の原因になります。アース端子がない場合、電気工事士によるD種接地工事が必要ですので、電気工事店に依頼してください。



専用電源

本機の電源は、専用の漏電遮断器付サーキットブレーカーもしくは、それと同等の設備のある専用コンセントに直接接続すること

電源コードは途中で接続したり、延長コードの使用、およびタコ足配線をした場合には、感電や発熱、火災の原因になります。



電気工事

電気工事は、「電気設備に関する技術基準」、「内線規定」に従って施工し、必ず専用回路を使用すること

電源回路不良、容量不足や施工不備があると、漏電、ショート、感電、火災の原因になります。



屋外禁止

屋外で使用しないこと

雨水のかかる場所で使用されますと、漏電、ショート、感電の原因になります。



湿気禁止

湿気の多いところや、水などがかかり易い場所で使用しないこと

本体や電源コードに水などがかかりますと、絶縁低下から漏電、ショート、感電の原因になります。



水掛け禁止

本体に直接水をかけないこと

漏電、ショート、感電の原因になります。



禁止

電源コードを傷つけないこと

加工したり、引っ張ったり、たばねたり、また重いものを乗せたり、挟み込んだりすると、電源コードが破損し、感電、火災の原因になります。



禁止

電源コードや電源プラグが破損している場合は使用しないこと

そのまま使われますと、ショート、感電、火災の原因になります。



点検清掃

電源プラグは、電源プラグの刃および刃の取付面にほこりが付着していないか定期的に電源プラグを抜いて確認し、刃の根元まで確実に差し込むこと

ほこりが付着した場合や、接続が不完全な場合は、感電、火災の原因になります。

⚠ 警告



連絡

漏電遮断器または、サーキットブレーカーが『OFF(切)』に作動した場合には、お買上げ店に連絡すること

無理にレバーを『ON(入)』にすると、ショート、感電、火災の原因になります。



接触禁止

機械内部の電気装置や配線にさわらないこと

電気装置や配線に触れると、感電する恐れがあります。



濡手禁止

濡れた手で電源プラグなどの電気部品に触れたり、本機の電源スイッチを操作しないこと

漏電、ショート、感電の原因になります。



プラグを抜く

異常時は電源スイッチを「OFF(切)」にして機械を止め、コンセントから電源プラグを抜いて、すぐにお買上げ店へ連絡すること

異常のまま使用を続けると、ショート、感電、火災の原因になります。



換気

ガス器具などからガスが漏れていたら、本機を使用せずに、窓をあけて換気すること

本機の電源スイッチを操作したり、コンセントから電源プラグを抜いたりすると、引火爆発し危険です。



挿入禁止

ミルカッターの回転中は、ホッパーの中からカッター内部に指、箸、スプーンなどを入れないこと

ケガの原因になります。



プラグを抜く

ホッパーの中に手を入れるときは、電源スイッチを「OFF(切)」にして機械を止め、コンセントから電源プラグを抜くこと

誤って豆挽きアイコンをタップした場合、ミルカッターが回転してケガの原因になります。



禁止

修理技術者以外の人は絶対に分解したり、修理したりしないこと

修理に不備があると、ショート、感電、火災などの原因になります。



改造禁止

改造は絶対におこなわないこと

改造をされると、ショート、感電、火災の原因になります。

⚠ 警告



専門業者

廃棄は専門業者か、お買上げ店に依頼すること
放置しますと、子供などがケガをする原因になります。

⚠ 注意



水平据付

丈夫で平らな所に水平になるように据え付けること

据え付ける場所が、ガタついていたたり、かたむいていたりしますと転倒、落下によるケガなどの原因になります。



禁止

本機の上に重量物や、水を入れた容器を置かないこと

落下してケガをしたり、こぼれた水で電気部品の絶縁が悪くなり、漏電、ショート、感電の原因になります。



禁止

コンセントから電源プラグを抜くときは、電源コードを持って抜かないこと

必ず電源プラグを持って抜いてください。
電源コードを引っ張ると電源プラグ内部でコードが傷つき、ショート、感電、火災の原因になります。



熱器具禁止

熱器具を乗せたり、熱器具の周囲に置いたりしないこと

熱でプラスチックが変形したり、破損したりした場合、ケガの原因になります。



可燃物禁止

可燃性のスプレーを近くで使用したり、可燃物を置いたりしないこと

本機の電源スイッチを「ON(入)」にしたり、電源プラグを抜いたり（電源プラグ使用の場合）すると、発火の原因になります。



開放禁止

常時、ホッパー蓋は閉めておくこと

開けたままにしますと、不純物（虫、ホコリなど）が混入する原因になります。



拭き取る

ホッパーのお手入れに洗剤を使ったあとは、洗剤成分を十分に拭き取ること

洗剤成分が残っていると、健康障害の原因になります。

⚠ 注意



プラグを抜く

お手入れのときや点検のときは、必ず電源スイッチを「OFF(切)」にして機械を止め、コンセントから電源プラグを抜くこと

誤って豆挽きアイコンをタップした場合、ミルカッターが回転してケガの原因になります。
漏電、ショート、感電の原因になります。



プラグを抜く

ご使用後は、安全のため電源スイッチが「OFF(切)」になっていることを確認し、コンセントから電源プラグを抜くこと

電源プラグやコンセント部にほこりが溜まって発熱、発火の原因になります。



動作点検

漏電遮断器は月に1回動作確認すること

漏電遮断器を故障のまま使用すると、漏電のとき動作せず、感電の原因になります。



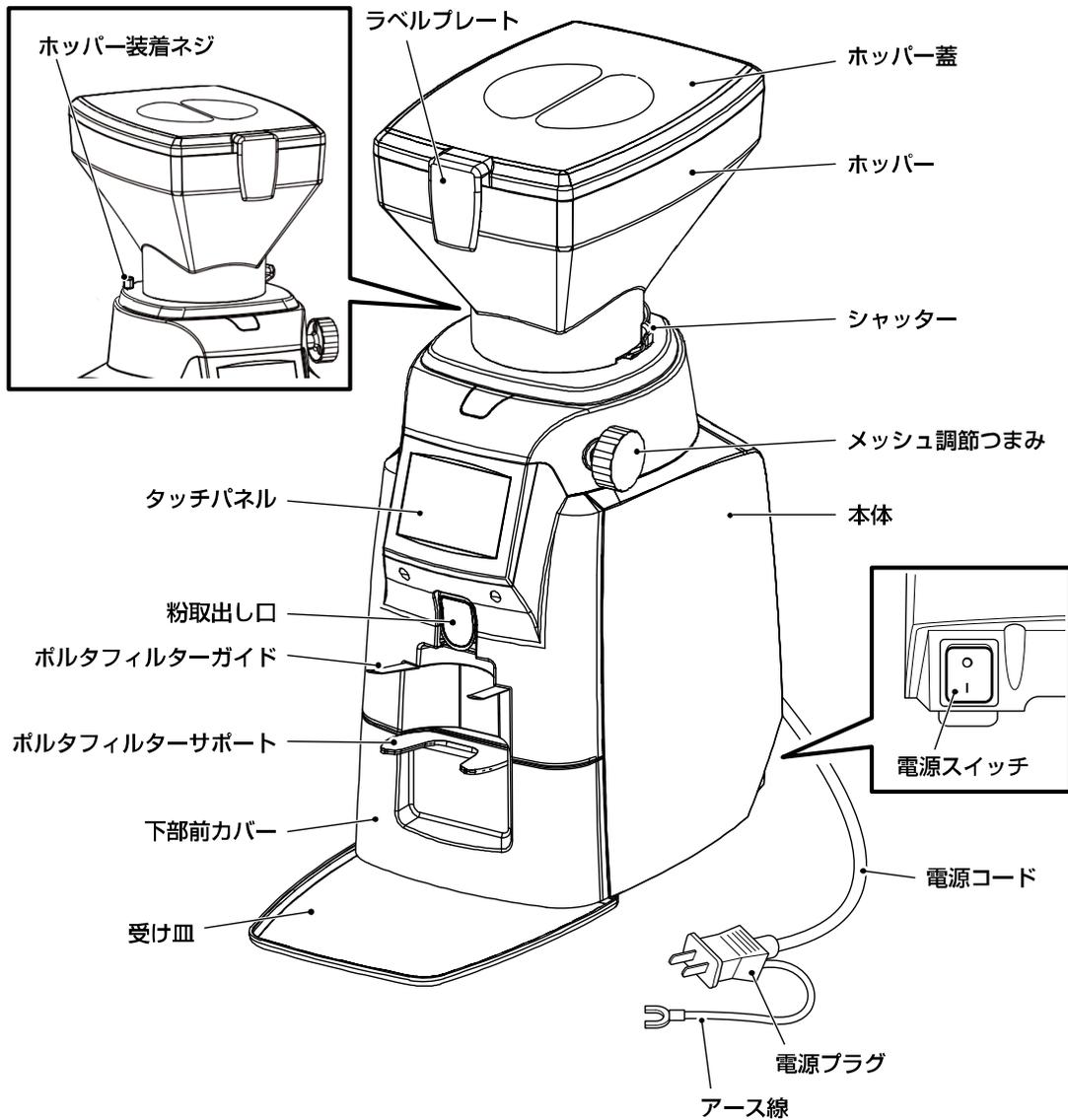
テープ止め

このお使いになっている商品を転売や、譲渡されるときには、新しく所有者となる方が安全な正しい使いかたを知るために、この取扱説明書を商品本体の目立つ所にテープ止めること

各部の名称

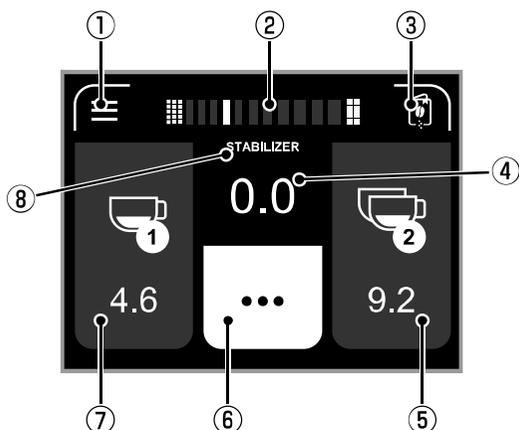
本機は、エスプレッソ用にコーヒー豆を挽く機械です

本体



タッチパネル

ホーム画面



① 『☰』 アイコン

このアイコンをタップすると、ユーザー設定画面が表示されます。

② メッシュゲージ

メッシュ（挽き目）の目盛りです。
この部分をタップすると、メッシュの設定値確認画面が表示されます。
メッシュ調節つまみを回すと値が変わり
ます。

③ 『☕』 アイコン

豆挽き時間(量)の設定画面が表示されます。
豆挽き時間(量)を変更したり、アイコンを
切替えたりすることができます。

④ 豆挽き時間表示 (秒)

1杯用と、2杯用豆挽き中は、設定した時
間からカウントダウンします。
連続豆挽き中は、0.0秒からカウントアッ
プします。

⑤ 2杯用豆挽きアイコン

2杯分のコーヒー豆を挽きます。
アイコンに表示されている数値は、設定さ
れている豆挽き時間です。
途中で豆挽きを中止したい場合は、もう一
度このアイコンをタップしてください。

⑥ 連続豆挽きアイコン

連続でコーヒー豆を挽きます。
豆挽きを止める場合は、もう一度このアイ
コンをタップしてください。

⑦ 1杯用豆挽きアイコン

1杯分のコーヒー豆を挽きます。
アイコンに表示されている数値は、設定さ
れている豆挽き時間です。
途中で豆挽きを中止したい場合は、もう一
度このアイコンをタップしてください。

⑧ 「STABILIZER」表示

豆挽き時間自動補正機能をONにしている
ときに表示されます。
OFFにしているときは表示されません。

操作手順

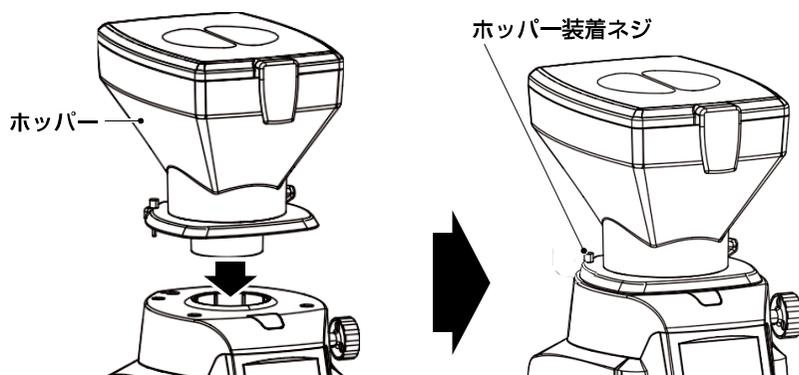
使用前の準備

1. ご使用になる前に、ホッパーを清掃してください

→ 「お手入れ」 (34ページ) を参照してください。

2. ホッパーを本体上部に取り付けてください

ホッパーを取り付けた後は、ホッパーの後側にあるホッパー装着ネジをきちんと締めて固定してください。



お願い

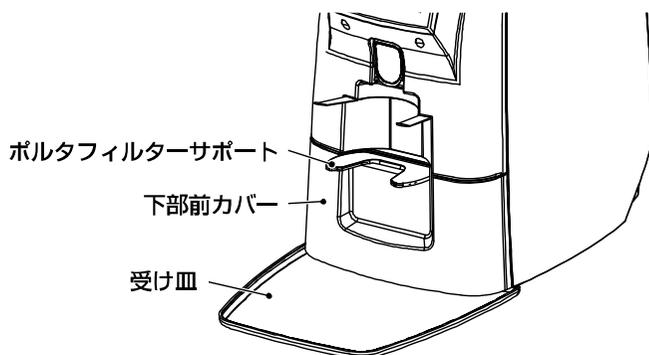
ホッパー装着ネジは必ず締めてください。

ホッパー装着ネジは、安全装置を兼ねているため、本体のネジ穴にきちんと締められていないと、電源スイッチを「ON(入)」にしても、ONの状態になりません。

ホッパーを取り外す場合は、シャッターを閉め、必ずホッパー装着ネジを完全にゆるめてから取り外してください。

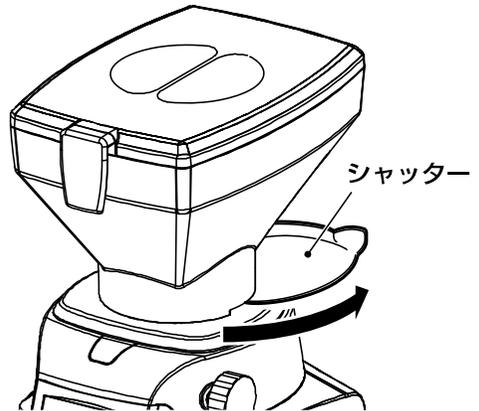
ホッパー装着ネジが完全にゆるんだ状態で、ホッパーを取り外さないと、ホッパーを破損させる恐れがあります。

3. 受け皿を本体の下部前カバーの下にセットしてください



4. ホッパーのシャッターを開いてください

シャッターを機械の右後方向に引き出して、開けてください。



5. ホッパー内にコーヒー豆を入れてください

ホッパー蓋を取り外し、コーヒー豆（最高1.0kgまで）を入れてホッパー蓋をセットしてください。

メモ

ホッパーの豆量が少なくなると（約3分目以下）、ミルカッターにかかる重量が軽くなり、コーヒー粉の状態にバラつきが出る可能性があります。

安定したメッシュを得るため、ホッパー内にはコーヒー豆を3分目以上入れておいてください。



※豆が少なすぎるとメッシュは粗くなる。→抽出時間が速くなる。

お願い

ホッパー内にコーヒー豆以外の異物や金属物が入らないようにしてください。

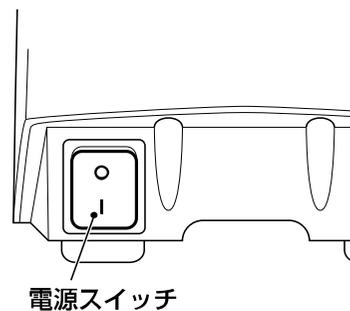
機械の故障、カッター破損の原因になります。

万一、カッターに異物がかみ込んだ場合、モーターがロックすることがあります。

その場合は、電源スイッチを「OFF(切)」にして、ホッパー内のコーヒー豆を取り出して異物を除去してください。

6. 専用コンセントに、本機の電源プラグを差し込んで、電源スイッチを「ON(入)」にしてください

本体背面下部にある電源スイッチを「I」の方向に倒し、電源スイッチを「ON(入)」にしてください。



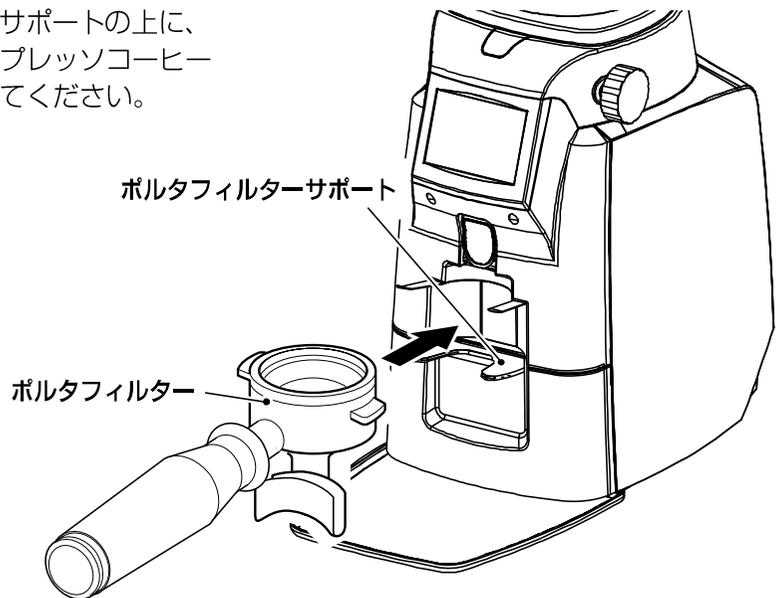
タッチパネルにメーカーのロゴが表示された後、ホーム画面が表示されます。



コーヒー豆の挽きかた

1. ポルタフィルターを本体のポルタフィルターサポートの上にセットしてください

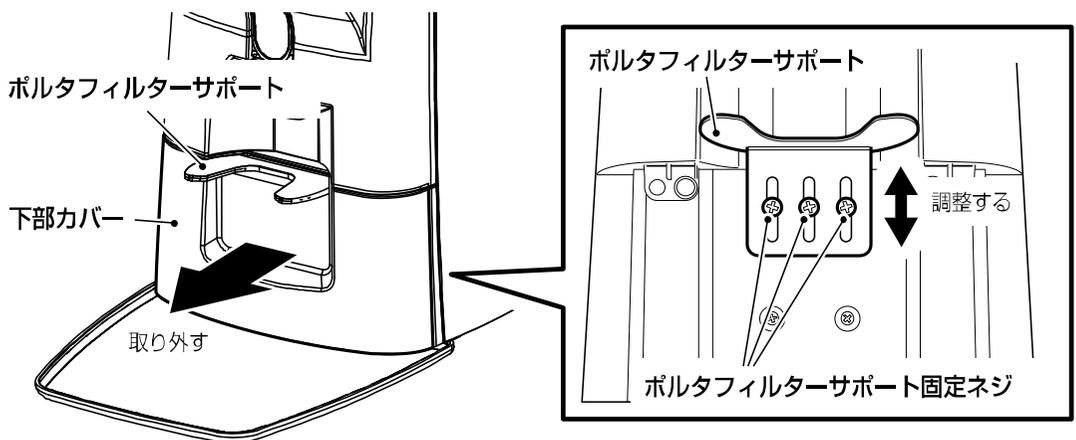
本体のポルタフィルターサポートの上に、ポルタフィルター（エスプレッソコーヒーマシンの付属品）を載せてください。



お願い

ポルタフィルターの高さが合わないときは、ポルタフィルターサポートの高さを調整してください。

下部前カバーを取り外すと、ポルタフィルターサポートの固定ネジが現れます。プラスドライバーで固定ネジ3本をゆるめて、高さを調整した後、固定ネジを締めてください。



2. コーヒー豆を挽いてください

タッチパネルの『1杯用豆挽き』アイコン、または『2杯用豆挽き』アイコンをタップすると、設定された時間コーヒー豆を挽き自動で停止します。

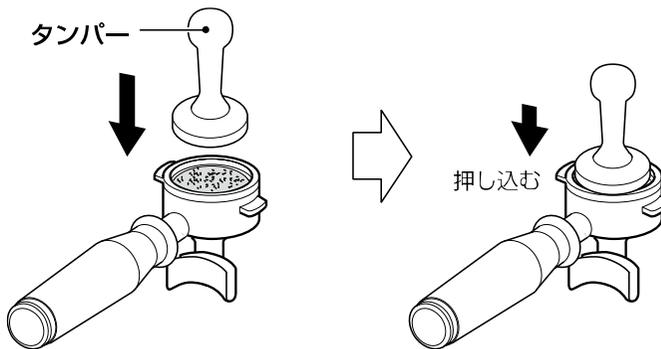


途中で中止したい場合はもう一度、『1杯用豆挽き』アイコン、または『2杯用豆挽き』アイコンをタップしてください。

3. コーヒー粉が入ったポルタフィルターを取り外してください

4. タンパーを使ってコーヒー粉を平らにしてください

タンパーをコーヒー粉の真上から押し当て、表面を平らにしてください。



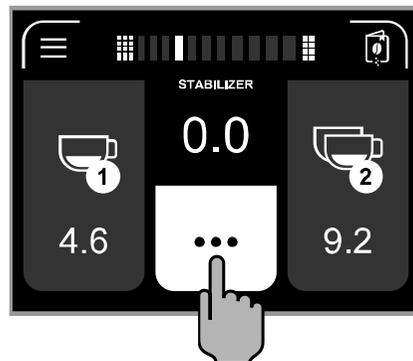
ポルタフィルターをエスプレッソコーヒーマシンにセットし抽出してください。
ポルタフィルターのセットのしかたと、抽出のしかたについては、エスプレッソコーヒーマシンの取扱説明書をお読みください。

任意の量の豆を挽く場合

設定した豆挽き量以外の量を挽きたい場合について説明します

1. 『連続豆挽き』アイコンをタップしてください

豆を挽き始めます。



2. 必要な量の豆が挽けたら、もう一度アイコンをタップしてください

最大20秒間豆を挽かせることができます。

20秒を経過すると、豆挽きは自動で停止します。

メモ

連続豆挽き時の豆挽きのカウントは、1杯用と2杯用の豆挽き時間設定値をもとに自動的に計算されます。

メッシュ（挽き目）調節について

コーヒー粉のメッシュは、実際にエスプレッソコーヒーマシンでエスプレッソを抽出して、抽出の状態を確認し、お客様の好みのメッシュになるよう調節してください

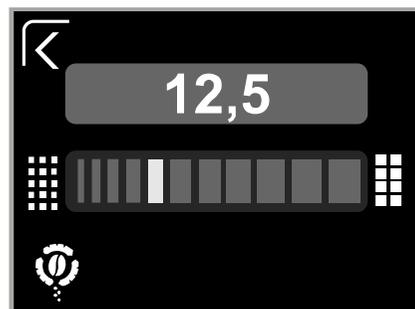
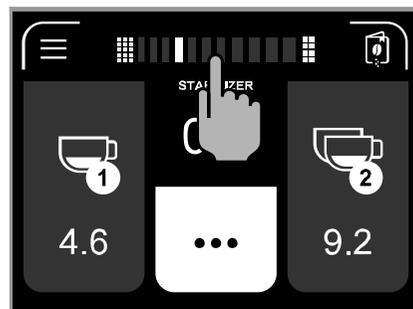
1. ホーム画面で「メッシュゲージ」をタップしてください

メッシュの設定値確認画面が表示されます。

メモ

メッシュの設定値確認画面を表示させずに、メッシュ調節つまみを操作して調節することもできます。

ここでは、設定値を確認しながら調節する方法で説明します。



2. メッシュ調節つまみを回してください

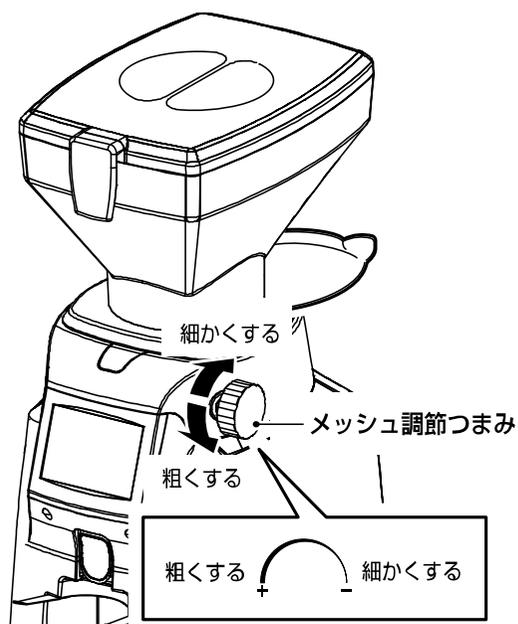
メッシュ調節つまみを回すときは、ゆっくり半周ずつ回し、その都度実際に豆を挽いて粗さを確認してください。

抽出時間が短く泡立ちが悪い場合

- メッシュを細かくする
「-」方向（時計方向）に回してください。

抽出時間が長すぎる場合

- メッシュを粗くする
「+」方向（反時計方向）に回してください。



メッシュ調節つまみを半周回すと、画面の値が0.5刻みで変わります。

メッシュを細かくする(「-」方向(時計方向)に回す)
→ 値は小さくなる

メッシュを粗くする(「+」方向(反時計方向)に回す)
→ 値は大きくなる



調節後は、画面右上の『』アイコンをタップしてホーム画面に戻ってください。

お願い

カッターが擦れ合うところまで、メッシュを細かくしないでください。

ミルカッターの目詰まりや、モーターの故障の原因になります。

新品のコーヒーミルは、使い始めしばらくはミルカッターの刃が馴染んでいないため、摩耗が速く進みます。

そのためメッシュが粗くなりますので定期的に調節をおこなう必要があります。

本機も、使い始めから50kg～80kg程度（コーヒー豆の種類によって異なる）のコーヒー豆を挽くまではミルカッターの摩耗が速く導入時に比べてメッシュが粗くなっていきます。

ミルカッターの刃が馴染んできると、ミルカッターの摩耗速度が遅くなり、メッシュが安定してきます。

ただし、美味しいエスプレッソを提供していただくために、定期的にエスプレッソの抽出状態を確認し、メッシュの微調整をおこなってください。

ホッパー内のコーヒー豆量が少なくなるとメッシュが粗くなりますので、9ページをご参照いただき、ホッパー内の豆量を常に3分目以上に保ってご使用ください。

コーヒー豆が全く挽けない場合は、メッシュ値を約10大きく（粗くする）して、一度粗挽きにしてから徐々に元のメッシュに戻してください。

季節やその日の天候、気温、湿度により、コーヒーの抽出時間が変わることがあります。

コーヒーマシンでコーヒーを抽出して、コーヒーの抽出時間が変わっているときは、メッシュの調節をおこなってください。

豆挽き時間自動補正機能を使用している場合は、メッシュ調節つまみを回転させ、メッシュの値が0.5変化したところで止め、その都度実際に豆を挽いて粗さを確認してください。

メッシュ調節つまみを一気に回されると、自動補正の計算が追いつかず、豆挽き時間の変化が少なくなります。

ミルカッター内にコーヒー豆が入っている場合は、カッターがロックする原因にもなります。

メッシュ調節をおこなっても細かくならなくなった場合は、ミルカッターの寿命ですので、交換が必要となります。お買上げ店にご連絡ください。

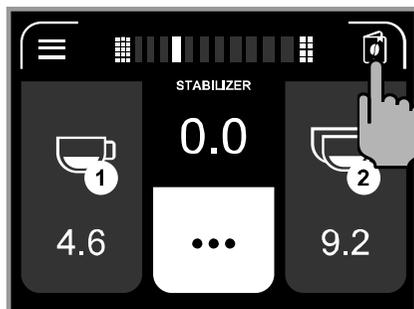
豆挽き時間（量）の変更方法（『☕』アイコン使用）

ここでは、ホーム画面の『☕』アイコンを使っておこなう豆挽き時間（量）の変更方法について説明しています

1. 豆挽き時間（量）の設定画面に入ってください

『☕』アイコンをタップしてください。

豆挽き時間（量）の設定画面が表示されます。



2. 豆挽き時間（量）の設定を変更してください

操作をやめる場合は、『◀』アイコンをタップしてください。



設定できる項目は、下表のとおりです。

項目	内容	設定 / 選択値
	『1杯用豆挽き』アイコン	『1杯用豆挽き』アイコンに設定されている豆挽き時間（量）を変更することができます。 設定可能範囲：1.0～20.0（単位：秒） （0.1秒刻み） このアイコン自体を『2杯用豆挽き』アイコン、非表示に変更することができます。
	『2杯用豆挽き』アイコン	『2杯用豆挽き』アイコンに設定されている豆挽き時間（量）を変更することができます。 設定可能範囲：1.0～20.0（単位：秒） （0.1秒刻み） このアイコン自体を『1杯用豆挽き』アイコン、非表示に変更することができます。

項目	内容	設定 / 選択値
	『連続豆挽き』アイコン	『連続豆挽き』アイコンは、豆挽き時間（量）を変更することはできません。 このアイコン自体を非表示に変更することができます。

『』、『』アイコンは、タップする毎に「1杯用豆挽き」、「2杯用豆挽き」、非表示に切り替わります。

『』アイコンは、タップすると非表示に切り替わります。

『-』または『+』をタップして豆挽き時間（量）の値を変更してください。
値を変更した後、『』アイコンをタップすると、実際に豆を挽いて豆挽き量を確認することができます。

4. 豆挽き時間の設定を終了してください

ホーム画面に戻るには、『』アイコンをタップしてください。

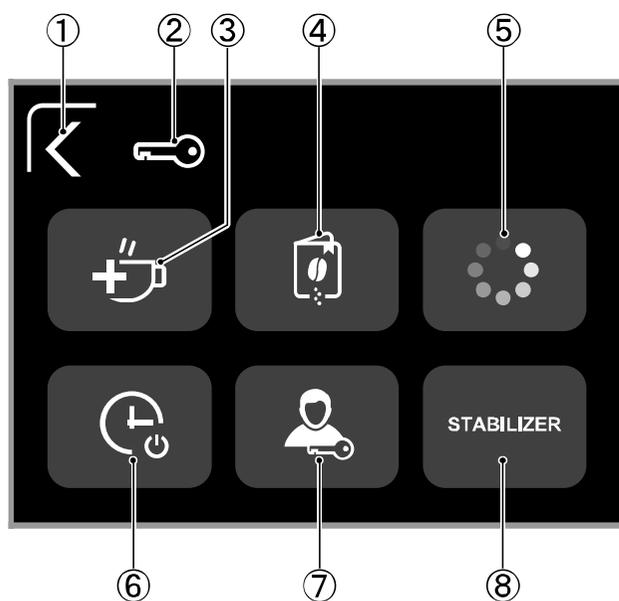
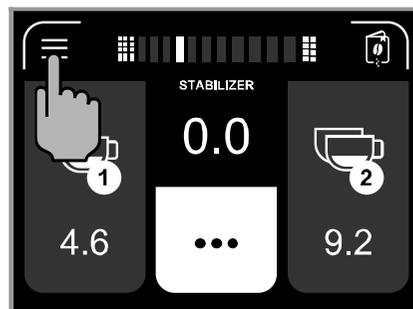
ユーザー設定について

ここでは、本機の各設定の変更方法について説明します

ユーザー設定画面

ホーム画面の『』アイコンをタップしてください。

ユーザー設定画面が表示されます。



①  アイコン

前画面に戻ります。

②  アイコン

メンテナンス時にサービスマンが使用します。

③  カウンター』 アイコン

電源スイッチを「ON(入)」にしてからの1時間あたりの豆挽き回数を確認することができます。

前回リセットしてから現在までの豆挽きの合計回数などを確認することができます。

20ページを参照してください。

④  豆挽き時間の設定』 アイコン

豆挽き時間(量)と、豆挽きアイコンを変更することができます。

20ページを参照してください。

⑤  テーマカラー』 アイコン

タッチパネルに表示される数値の色を変更することができます。

21ページを参照してください。

⑥  省電力機能設定』 アイコン

ONにすると、設定した時間、何も操作をおこなわないと、画面が少し暗くなります。

画面が暗くなるまでの時間を設定することもできます。

21ページを参照してください。

⑦  パスワード変更』 アイコン

ユーザー設定に入るためのパスワードを設定している場合のパスワードを変更することができます。

21ページを参照してください。

⑧  豆挽き時間自動補正』 アイコン

豆挽き時間の自動補正率を設定することができます。

22ページを参照してください。

ユーザー設定のメニュー

「 カウンター」

電源スイッチを「ON(入)」にしてからの1時間あたりの豆挽き回数を確認することができます。

前回カウンターをリセットしてから現在までの電源がONの状態になっていた合計時間と、豆挽きの合計回数を確認することができます。

23ページを参照してください。

項目	内容	設定 / 選択値
	電源スイッチを「ON(入)」にしてからの1時間あたりの豆挽き回数	電源スイッチを「OFF(切)」にすると数値はリセットされて0になります。 <u>電源スイッチを「ON(入)」にしてから1時間以内は、実際の豆挽き回数よりも大きい値が表示されます。</u>
	左側 (XdXXhXXm) は、本機の電源がONの状態になっていた合計時間 d : 日数、h : 時間、m : 分	リセットはできません。
	右側 (Σ0x) は、前回カウンターをリセットしてから現在までの豆挽きの合計回数 2杯用豆挽きは2回豆挽きしたものとカウントされます。 連続豆挽きは、1杯用豆挽きと2杯用豆挽き時間の設定値をもとにカウントされます。	『  』アイコンを約2秒間長押しすると数値がリセットされて値が0になります。

「 豆挽き時間の設定」

豆挽き時間(量)と豆挽きアイコンを変更することができます。

25ページを参照してください。

項目	内容	設定 / 選択値
	『1杯用豆挽き』アイコン	『1杯用豆挽き』アイコンに設定されている豆挽き時間(量)を変更することができます。 設定可能範囲：1.0～20.0(単位：秒) (0.1秒刻み) このアイコン自体を『2杯用豆挽き』アイコン、非表示に変更することができます。

項目	内容	設定 / 選択値
	『2杯用豆挽き』アイコン	『2杯用豆挽き』アイコンに設定されている豆挽き時間（量）を変更することができます。 設定可能範囲：1.0～20.0（単位：秒） （0.1秒刻み） このアイコン自体を『1杯用豆挽き』アイコン、非表示に変更することができます。
	『連続豆挽き』アイコン	『連続豆挽き』アイコンは、豆挽き時間（量）を変更することはできません。 このアイコン自体を非表示に変更することができます。

「 テーマカラー」

タッチパネルに表示される数値などの色を変更することができます。
工場出荷時の設定は黄色です。
27ページを参照してください。

「 省電力機能設定」

省電力機能をONにすると、設定した時間、何も操作をおこなわないと、画面が少し暗くなります。
画面が暗くなるまでの時間を変更することができます。
28ページを参照してください。

「 パスワード変更」

ホーム画面左上の『』アイコンをタップしてユーザー設定画面に入る際、またはホーム画面右上の『』アイコンをタップして豆挽き時間（量）の設定画面に入る際、パスワード入力を求める設定をおこなっている場合のパスワードを、お客様で変更することができます。
30ページを参照してください。

メモ

お客様で、ユーザー設定画面、または豆挽き時間（量）の設定画面に入る際、パスワード入力を求める設定をおこなうことはできません。

ユーザー設定画面、または豆挽き時間（量）の設定画面に入る際、パスワード入力を求める設定が必要な場合は、お買い上げ店か、弊社にご連絡ください。

「STABILIZER」 豆挽き時間自動補正

豆挽き時間自動補正機能をONにすると、メッシュ調節つまみを回したときに豆挽き時間が自動で変わります。

この豆挽き時間の増減率は、「LOW」「MED」「HIGH」の3段階の中から選択することができます。

豆挽き時間自動補正機能とは

メッシュを変更すると、粉量が変わる場合があります。

豆挽き時間自動補正機能は、メッシュを変更しても粉量が一定となるよう豆挽き時間を自動で調整する機能です。

メッシュを細かくすると → 豆挽き時間は自動で増加します

メッシュを粗くすると → 豆挽き時間は自動で減少します

豆挽き時間自動補正機能のONとOFF

「」部分をタップすると機能がONまたはOFFに切り替わります。

「」(ON) → 豆挽き時間自動補正を使用する
増減率のアイコンを選択することができます。

「」(OFF) → 豆挽き時間自動補正を使用しない
増減率のアイコンを選択することはできません。

豆挽き時間自動補正機能をONにすると、ホーム画面に「STABILIZER」が表示されます。

OFFにしているときは表示されません。



32ページを参照してください。

項目	内容	設定 / 選択値
 LOW	LOW (増減率：小)	メッシュを調節すると、豆挽き時間は「MEDIUM」の設定より少し小さい増減率で自動的に変わります。
 MED	MEDIUM (増減率：中)	メッシュを調節すると、豆挽き時間は標準の増減率で自動的に変わります。 工場出荷時の増減率：3.8%
 HIGH	HIGH (増減率：大)	メッシュを調節すると、豆挽き時間は「MEDIUM」の設定より少し大きい増減率で自動的に変わります。

カウンターの表示方法

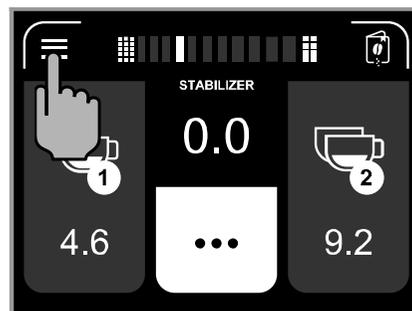
電源スイッチを「ON(入)」にしてからの1時間あたりの豆挽き回数を確認することができます

前回カウンターをリセットしてから現在までの電源がON状態になっていた合計時間と、豆挽きの合計回数を確認することができます

1. ユーザー設定画面に入ってください

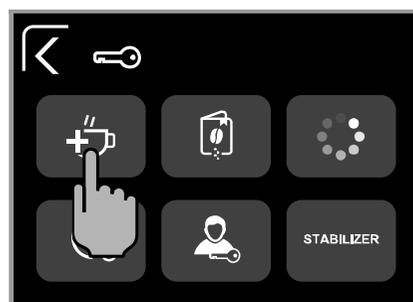
『☰』アイコンをタップしてください。

ユーザー設定画面が表示されます。



2. 『☰』アイコンをタップしてください

カウンターの画面が表示されます。



各項目は以下のことをあらわしています。

項目	内容	設定 / 選択値
	電源スイッチを「ON(入)」にしてからの1時間あたりの豆挽き回数	電源スイッチを「OFF(切)」にすると数値はリセットされて0になります。 <u>電源スイッチを「ON(入)」にしてから1時間以内は、実際の豆挽き回数よりも大きい値が表示されます。</u>

項目	内容	設定 / 選択値
	左側 (XdXXhXXm) は、本機の電源がONの状態になっていた合計時間 d : 日数、h : 時間、m : 分	リセットはできません。
	右側 (Σ0X) は、前回カウンターをリセットしてから現在までの豆挽きの合計回数 2杯用豆挽きは2回豆挽きしたものととしてカウントされます。 連続豆挽きは、1杯用豆挽きと2杯用豆挽き時間の設定値をもとにカウントされます。	『  』アイコンを約2秒間長押しすると数値がリセットされて値が0になります。

前回カウンターをリセットしてから現在までの豆挽きの合計回数をリセットする場合

『』アイコンを約2秒間長押ししてください。



3. ユーザー設定を終了してください

ホーム画面に戻るには、『』アイコンを2回タップしてください。

豆挽き時間（量）の変更方法

ここでは、豆挽き時間（量）の変更方法について説明しています

1. ユーザー設定画面に入ってください

『☰』アイコンをタップしてください。

ユーザー設定画面が表示されます。



2. 『☕』アイコンをタップしてください

操作をやめる場合は、『◀』アイコンをタップしてください。

豆挽き時間（量）の設定画面が表示されます。



3. 豆挽き時間（量）の設定を変更してください



設定できる項目は、下表のとおりです。

項目	内容	設定 / 選択値
	『1杯用豆挽き』アイコン	『1杯用豆挽き』アイコンに設定されている豆挽き時間（量）を変更することができます。 設定可能範囲：1.0～20.0（単位：秒） （0.1秒刻み） このアイコン自体を『2杯用豆挽き』アイコン、非表示に変更することができます。

項目	内容	設定 / 選択値
	『2杯用豆挽き』アイコン	『2杯用豆挽き』アイコンに設定されている豆挽き時間（量）を変更することができます。 設定可能範囲：1.0～20.0（単位：秒） （0.1秒刻み） このアイコン自体を『1杯用豆挽き』アイコン、非表示に変更することができます。
	『連続豆挽き』アイコン	『連続豆挽き』アイコンは、豆挽き時間（量）を変更することはできません。 このアイコン自体を非表示に変更することができます。

『』、『』アイコンは、タップする毎に「1杯用豆挽き」、「2杯用豆挽き」、非表示に変わります。

『』アイコンは、タップすると非表示に変わります。

『-』または『+』をタップして豆挽き時間（量）の値を変更してください。
値を変更した後、『』アイコンをタップすると、実際に豆を挽いて豆挽き量を確認することができます。

4. ユーザー設定を終了してください

ホーム画面に戻るには、『』アイコンを2回タップしてください。

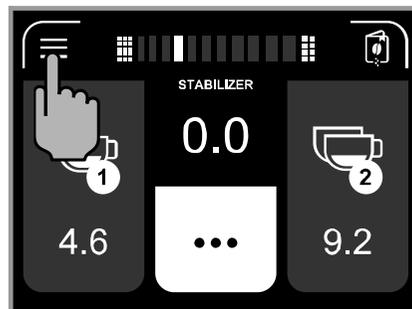
テーマカラーの変更方法

タッチパネルに表示される数値などの色を3種類から選択して変更することができます
ここでは、色の変更方法について説明します

1. ユーザー設定画面に入ってください

『☰』アイコンをタップしてください。

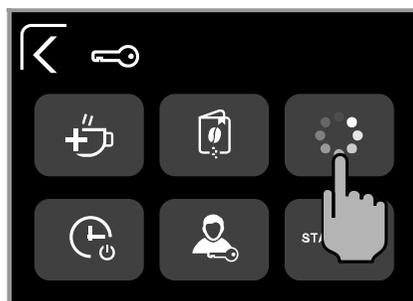
ユーザー設定画面が表示されます。



2. 『⦿』アイコンをタップしてください

操作をやめる場合は、『◀』アイコンをタップしてください。

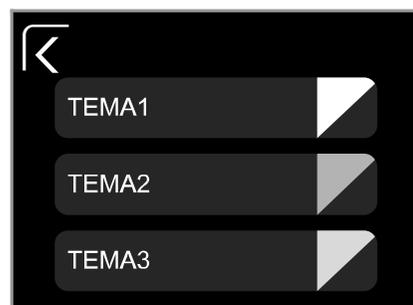
テーマカラーを選択する画面が表示されます。



3. お好みのテーマカラーを選択してください

テーマカラーは、黄色、水色、ピンク色の3種類あります。

工場出荷時 : 黄色



4. ユーザー設定を終了してください

ホーム画面に戻るには、『◀』アイコンを2回タップしてください。

省電力機能の設定方法

省電力機能をONにすると、設定した時間、何も操作をおこなわないと表示が少し暗くなります

暗くなっているときは、明るいときよりも消費電力を約40%抑えることができます

暗くなっている状態で、タッチパネルをタップすると再度明るくなります

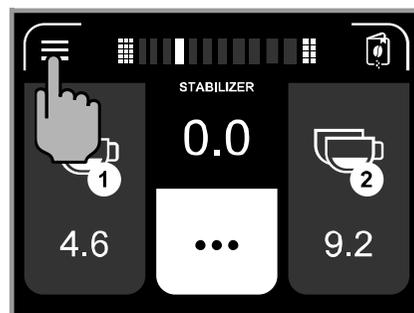
省電力機能が作動するまでの時間を変更することができます

ここでは、省電力機能の設定方法について説明しています

1. ユーザー設定画面に入ってください

『☰』アイコンをタップしてください。

ユーザー設定画面が表示されます。



2. 『🔒』アイコンをタップしてください

操作をやめる場合は、『←』アイコンをタップしてください。

省電力機能の設定画面が表示されます。

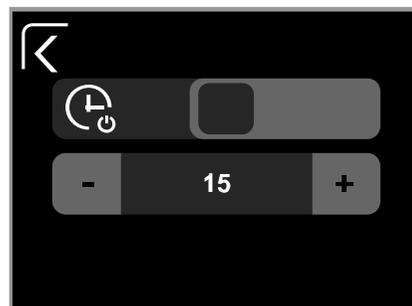


3. 省電力機能を設定してください

『🔘』をタップしてONまたはOFFに切り替えてください。

『🔘』：省電力機能を使用する

『🔘』：省電力機能を使用しない

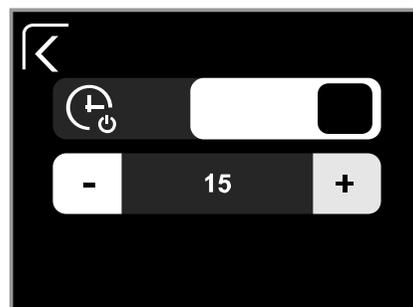


省電力機能をONにすると、省電力機能が作動するまでの時間を変えることができます。

時間を変える場合は、『-』または『+』アイコンをタップして時間を変更してください。

設定可能範囲：5 ～ 60（単位：分、1分刻み）

工場出荷時：15（分）



4. ユーザー設定を終了してください

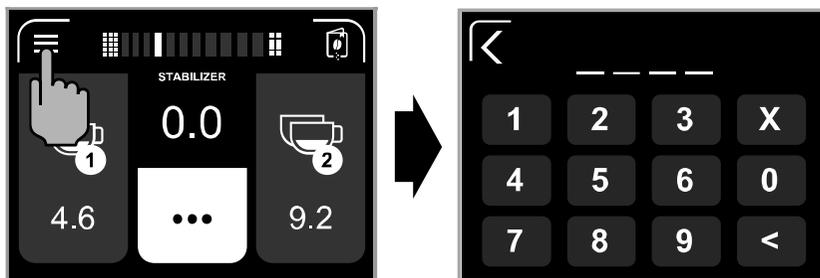
ホーム画面に戻るには、『』アイコンを2回タップしてください。

ユーザー設定画面に入るためのパスワードの設定

ホーム画面左上の『☰』アイコンをタップしてユーザー設定画面に入る際、またはホーム画面右上の『🔒』アイコンをタップして豆挽き時間（量）の設定画面に入る際、パスワード入力を求める設定をおこなっている場合のパスワードを、お客様で変更することができません

メモ

パスワード入力を求める設定にしている場合は、メニュー画面で『☰』アイコンをタップすると以下のようにパスワード入力画面が表示されます。



お客様でパスワード入力画面を表示させる設定はできません。

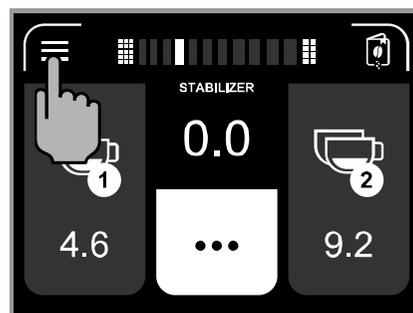
パスワード入力画面を表示させる設定が必要な場合は、お買い上げ店か、弊社にご相談ください。

ここでは、パスワード入力画面を表示させる設定をおこなっている場合、入力するパスワードの変更方法について説明しています

1. ユーザー設定画面に入ってください

『☰』アイコンをタップしてください。

ユーザー設定画面が表示されます。



2. 『👤』アイコンをタップしてください

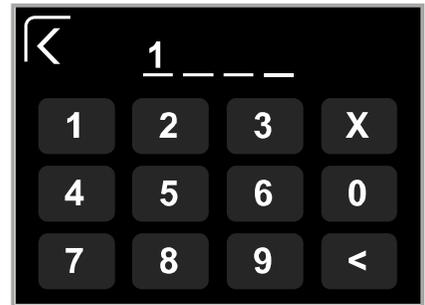
操作をやめる場合は、『⬅️』アイコンをタップしてください。

パスワードの設定画面が表示されます。

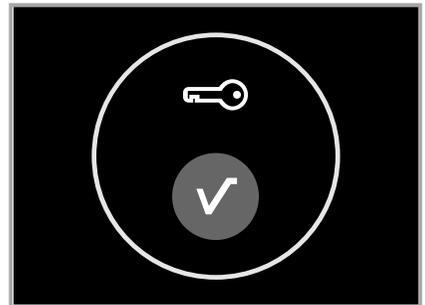


3. パスワードを変更してください

4桁の数字を入力してください。
先頭の数字は「1」（確定）になります。
左から2番目以降を入力してください。



4桁の数字を入力すると、右のような画面が約
2秒間表示された後、ユーザー設定画面に戻り
ます。
これで、パスワードの変更が確定されました。



4. ユーザー設定を終了してください

ホーム画面に戻るには、『<』アイコンをタップしてください。

豆挽き時間自動補正機能の設定方法

豆挽き時間自動補正機能をONにすると、メッシュ調節つまみを回したときに豆挽き時間が自動で変わります

この豆挽き時間の増減率は、「LOW」「MED」「HIGH」の3段階の中から選択することができます

豆挽き時間自動補正機能とは

メッシュを変更すると、粉量が変わる場合があります。

豆挽き時間自動補正機能は、メッシュを変更しても粉量が一定となるよう豆挽き時間を自動で調整する機能です。

メッシュを細かくすると → 豆挽き時間は自動で増加します

メッシュを粗くすると → 豆挽き時間は自動で減少します

お願い

豆挽き時間自動補正機能を使用する際、メッシュ調節つまみを回転させ、メッシュの値が0.5 変化したところで止め、その都度実際に豆を挽いて粗さを確認してください。

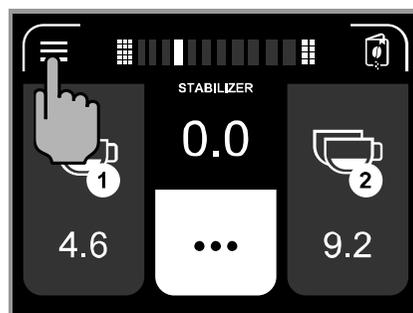
メッシュ調節つまみを一気に回されると、自動補正の計算が追いつかず、豆挽き時間の変化が少なくなります。

ミルカッター内にコーヒー豆が入っている場合は、カッターがロックする原因にもなります。

1. ユーザー設定画面に入ってください

『☰』アイコンをタップしてください。

ユーザー設定画面が表示されます。



2. 『STABILIZER』アイコンをタップしてください

操作をやめる場合は、『←』アイコンをタップしてください。

豆挽き時間自動補正の設定画面が表示されます。



3. 豆挽き時間自動補正機能を設定してください

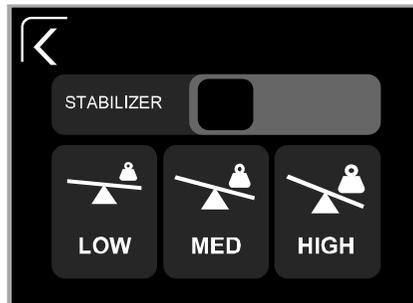
『』をタップしてONまたはOFFに切替えてください。

『』 (ON) →

豆挽き時間自動補正を使用
増減率のアイコンを選択することができます。

『』 (OFF) →

豆挽き時間自動補正を使用しない
増減率のアイコンを選択することはできません。



豆挽き時間自動補正機能を『』(ON)にすると、豆挽き時間の増減率を「LOW」「MED」「HIGH」の3段階の中から選択することができます。

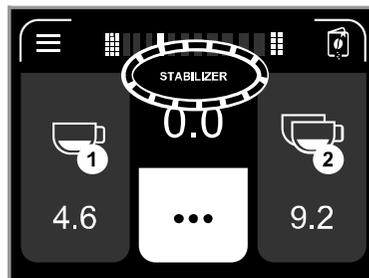
お好みで増減率を選択してください。

項目	内容	設定 / 選択値
	LOW (増減率：小)	メッシュを調節すると、豆挽き時間は「MEDIUM」の設定より少し小さい増減率で自動的に変わります。
	MEDIUM (増減率：中)	メッシュを調節すると、豆挽き時間は標準の増減率で自動的に変わります。 工場出荷時の増減率：3.8%
	HIGH (増減率：大)	メッシュを調節すると、豆挽き時間は「MEDIUM」の設定より少し大きい増減率で自動的に変わります。

4. ユーザー設定を終了してください

ホーム画面に戻るには、『』アイコンを2回タップしてください。

豆挽き時間自動補正機能をONにすると、ホーム画面に「STABILIZER」が表示されます。
OFFにしているときは表示されません。



お手入れ

いつも清潔にご使用いただくためと、機械を長持ちさせるために、作業終了後は各部をお手入れしてください。

⚠ 警告



本体に直接水をかけないこと
漏電、ショート、感電の原因になります。

⚠ 注意



お手入れや点検のときは、必ず電源スイッチを切って機械を止め、コンセントから本機の電源プラグを抜くこと
誤って豆挽きアイコンをタップした場合、ミルカッターが回転してケガの原因になります。
漏電、ショート、感電の原因にもなります。

1. 本機の電源スイッチを「OFF(切)」にして、コンセントから本機の電源プラグを抜いてください
2. 本体のポルタフィルターサポートなどに付着しているコーヒー粉は、お手持ちのブラシで払い落とし、柔らかい布で拭いてください
3. 受け皿に溜まった粉は捨てて、柔らかい布できれいに拭いてください
4. 本体周辺に飛び散った粉は、掃除機で吸い取ってください
5. ホッパーのシャッターを閉めてください

お願い

ホッパーを取り外す場合は、シャッターを閉めてから取り外してください。

シャッターが開いたままホッパーを取り外すと、ホッパーの下からコーヒー豆がこぼれ出ます。



6. ホッパー装着ネジをゆるめてください

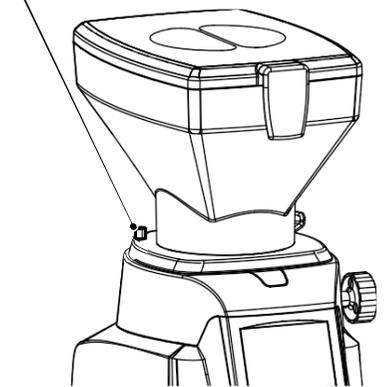
お願い

ホッパーを取り外すときは、必ずホッパー装着ネジをゆるめることを忘れないでください。

ネジが締まった状態で、ホッパーを無理に取り外そうとした場合、ホッパーを破損する原因になります。

本機を落としたり、転倒させたりした場合、故障の原因になります。

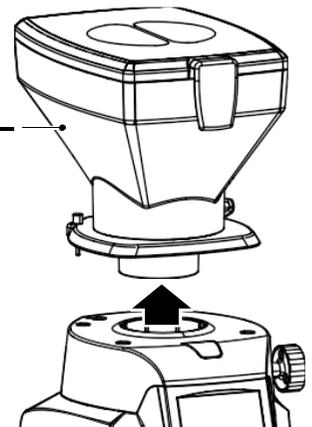
ホッパー装着ネジ



7. ホッパーを本体から取り外してください

ホッパー内のコーヒー豆を全て取り出してください。

ホッパー



8. ホッパー内および本体外装部のお手入れをおこなってください

ホッパー内および本体外装部に付着したコーヒー豆の油汚れは、食器用中性洗剤を含ませた布かスポンジを硬く絞って拭き、きれいな水で濡らした布を硬く絞って十分に洗剤成分を拭き取ってください。

その後完全に乾燥させてください。

お願い

清掃をするとき、クレンザー、酸類、ベンジン、ガソリン、シンナーなどは使わないでください。

キズが付いたり、破損の原因になります。

エラー表示

ここでは、ホーム画面に表示されるエラー表示について説明します

ホーム画面右上に表示される「▲」は、ホーム画面左上に白色以外のエラーコードが表示されている間表示されます。

エラーの原因が解消されるとエラーコードが白色に変わり、「▲」の表示は消えます。



メモ

エラーコードの表示が白色の場合は、エラーの原因が解消されている状態ですので、正常にお使いいただけます。

表示されるエラーコードの内容は、下表のとおりです。

エラーコード	内容	手 当
88	ROMの不具合	電源スイッチを「OFF(切)」にしてから、再度電源スイッチを「ON(入)」にしてください。 エラーコードの色が白色に変わらない場合は、お買い上げ店に連絡してください。
96	ミルカッターの交換時期のお知らせ	お買い上げ店にミルカッターの交換を依頼してください。
202	ポテンショメーターの不具合	お買い上げ店に連絡してください。
203	ポテンショメーターの不具合	お買い上げ店に連絡してください。

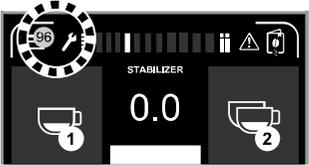
故障の診断と手当

故障かなと思われ修理を依頼する前に、次の項目を確認してください。

症状が改善されないときや「手当」の欄に「お買上げ店へ連絡してください。」と記載されている場合は、本機の電源スイッチを「OFF(切)」にして機械を止め、コンセントから本機の電源プラグを抜いて、早急にお買上げ店へ連絡してください。

ご連絡の場合は、本機の型式名、機番、お買上げ日、故障状況（できるだけ詳しく）をお知らせください。

状 態	確認 / 症状	手 当
電源スイッチを入れても電源が入らない (※電源スイッチが点灯しない場合)	設備側のコンセントから電源プラグが抜けていませんか？	専用コンセントに電源プラグを差し込んでください。
	停電ではありませんか？	通電するのを待ってください。
	漏電遮断器が切れていませんか？	漏電遮断器が「OFF(切)」に作動した場合には、お買上げ店へ連絡してください。 レバーが「OFF(切)」になっていると漏電している可能性があります。 無理にレバーを「ON(入)」にすると、感電や火災の原因になります。
	機械の故障の可能性があります。	お買上げ店へ連絡してください。
電源スイッチを入れても電源が入らない (※電源スイッチは点灯しているが、タッチパネルに何も表示されない場合)	ホッパー装着ネジがゆるんでいませんか？	ホッパー装着ネジがゆるんでいる場合は、きちんと締めてください。
	電源基板のヒューズが切れている可能性があります。	お買上げ店へ連絡してください。
	機械の故障の可能性があります。	お買上げ店へ連絡してください。
豆挽きアイコンをタップしてもコーヒー豆を挽かない	ホッパー内にコーヒー豆が入っていますか？	コーヒー豆が入っていない場合は、補充してください。
	ホッパーのシャッターを閉じていませんか？	シャッターを開けてください。
	モーターの保護装置が作動している可能性があります。	電源スイッチを切り、時間を置いてから再度電源を入れてください。
	ミルカッターが、目詰まりしている可能性があります。	メッシュ調節つまみを「+」に回して、メッシュを粗くしてからモーターを回転させてください。 症状が改善されないときは、お買上げ店へ連絡してください。
	機械の故障の可能性があります。	お買上げ店へ連絡してください。

状 態	確認 / 症状	手 当
本体から異常音が発生する	丈夫な所に設置していますか？	不安定な場合には、お買上げ店へ連絡してください。
	据え付けが悪く、がたついていませんか？	水平で平らな場所に据え付けてください。
	本機に何か触れた状態になっていませんか？	接触しているものを取り除いてください。
	カッター部に異物が噛み込まれていませんか？	電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて、カッター部の異物を取り除いてください。
	ホッパー蓋、受け皿が正しくセットされていますか？	ホッパー蓋、受け皿を正しくセットしてください。
	機械の故障の可能性があります。	お買上げ店へ連絡してください。
メッシュが粗すぎる	ミルカッターが、目詰まりしている可能性があります。	14ページの「メッシュ調節について」を参照して、メッシュの調整をおこなってください。 症状が改善されない場合は、お買上げ店へ連絡してください。
	ミルカッターが摩耗している可能性があります。	
メッシュにバラツキがある	ホッパー内のコーヒー豆の量が少なすぎる可能性があります。	9ページを参照して、豆の量を調整してください。 症状が改善されない場合は、お買上げ店へ連絡してください。
画面左上にメンテナンス・アイコンとエラー96が表示されている 	8万杯の使用毎に表示されます。	お買上げ店にミルカッターの交換を依頼してください。 メンテナンス・アイコンとエラー96が表示されていても使用は可能です。
漏電遮断器が切れる	漏電遮断器のレバーの位置が「OFF(切)」になっていませんか？	漏電遮断器が「OFF(切)」に作動した場合には、お買上げ店へ連絡してください。 レバーが「OFF(切)」になっていると漏電している可能性があります。 無理にレバーを「ON(入)」にすると、感電や火災の原因になります。
電源コードやプラグが異常に熱くなる	電源コードを束ねていませんか？	お買上げ店へ連絡してください。
	電源コードをものなどで挟み込んでいませんか？	電源コードを挟み込んでいるものを取り除いてください。

据付けについて

⚠ 警告



本機の電源は、専用の漏電遮断機付きサーキットブレーカーもしくは、それと同等の設備に直接接続すること
電源コードは途中で接続したり、延長コードの使用、およびタコ足配線をした場合には、感電や発熱、火災の原因になります。



湿気の多いところや、水などがかかり易い場所に据え付けないこと
本体や電源コードに水がかかると、絶縁低下から漏電、ショート、感電の原因になります。



アース線を必ず接続すること
アース線はガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。
アースが不完全な場合、感電の原因になります。
設備側にアース端子がない場合、電気工事士によるD種接地工事が必要です。電気工事士に依頼してください。

⚠ 注意



本機の電源は、専用の漏電遮断機付きサーキットブレーカーもしくは、それと同等の設備のある専用コンセントに直接接続すること
電源コードは途中で接続したり、延長コードの使用、およびタコ足配線をした場合には、感電や発熱、火災の原因になります。

作業に支障がないように、十分なスペースを確保してください

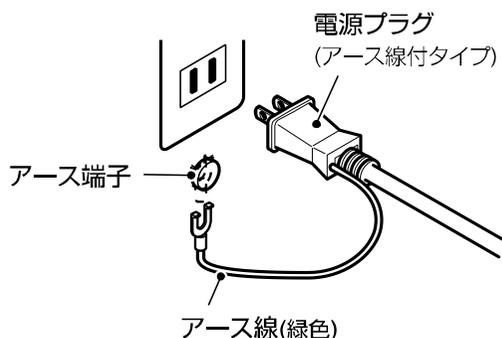
タッチパネルが正面にくるように据え付けてください

本機は、コンセントに電源プラグを接続した場合、コードに余裕があるように据え付けてください

電源コードの長さ：1.9m

電源プラグのアース線(緑色の線)を
設備側のアース端子に接続してください

ご使用の際は、本機専用のコンセント
に電源プラグを差し込んでください



仕様

品名	エスプレッソ専用 オンデマンドミル 【カサディオ】
型式	ENEA RE(OD)
外形寸法	幅 200・奥行 411・高さ 511mm
電源	100V 50 / 60Hz
電流	2.0 / 2.3A
消費電力	180 / 230W
定格時間	20秒 ON / 400秒 OFF
安全装置	モーター保護装置付 ホッパー安全装置付
ホッパー容量	1.0kg (コーヒー豆量)
豆挽き時間設定	1杯用： 1.0 ~ 20.0 秒 2杯用： 1.0 ~ 20.0 秒 連続用： 20.0秒まで連続取出可能
質量	9.4kg
電源コード	長さ1.9m

※上記の仕様は、品質向上のため予告なしに変更されることがありますのでご了承ください。

付属品	受け皿 1個 取扱説明書（本書） 1冊
-----	------------------------------------

保証書(別添付)について

保証書の内容をよくお読みのうえ、必要事項を必ずご記入ください。

保証書から返信ハガキを切取っていただき、保証書は紛失にご注意され、お客様にて大切に保管してください。

返信ハガキは商品ご購入後、1か月以内にご返信ください。

消耗部品

本商品の消耗部品は以下のものになります。

ミルカッター	ホッパー
--------	------

補修用性能部品の保有期間

補修用性能部品とは、本商品の性能を維持するために必要な部品です。

弊社では、本商品の補修用性能部品の保有期間は、販売打ち切り後5年とさせていただきます。

株式会社エフ・エム・アイ

東京：〒106-0041 東京都港区麻布台1丁目11番9号 Tel.03(5561)6521

大阪：〒538-0044 大阪市鶴見区放出東3丁目11番31号 Tel.06(6969)9393

営業所 札幌：〒003-0002 札幌市白石区東札幌二条5丁目4番1号 Tel.011(813)8651

仙台：〒983-0039 仙台市宮城野区新田東1丁目15番6号 Tel.022(238)5711

名古屋：〒454-0822 名古屋市中川区四女子町2丁目46番地 Tel.052(361)7891

広島：〒731-0102 広島市安佐南区川内6丁目43番9号 Tel.082(876)1855

福岡：〒812-0839 福岡市博多区那珂1丁目30番21号 Tel.092(481)2931

出張所 北陸：〒921-8027 金沢市神田1丁目23番11号 Tel.076(243)7810

沖縄：〒901-2214 宜野湾市我如古1丁目54番21号 Tel.098(870)2766

サービス盛岡：〒020-0124 盛岡市厨川4丁目14番5号 Tel.019(648)5390

ステーション 四国：〒768-0012 香川県観音寺市植田町155番地1 Tel.0875(57)5161

鹿児島：〒890-0073 鹿児島市宇宿1丁目15番8号 Tel.099(263)8281

東京修理工場：〒130-0011 東京都墨田区石原4丁目35番7号 Tel.03(5819)1280

ホームページ <http://www.fmi.co.jp/>

202410 PA